

令和元年度 独立行政法人福祉医療機構 契約監視委員会 議事概要

○日時等 令和元年6月24日(月)【10:30～11:40】

於：機構9F特別会議室

○出席者 委員：中村 洋 委員（慶応義塾大学大学院経営管理研究科教授）
原木 詩人 委員（弁護士）
和田 義博 委員（公認会計士）
吉野 裕 委員（当機構監事）
大橋 裕子 委員（当機構監事）

【議事内容】

審議事項

- (1) 契約点検結果【新たな競争性のない随意契約】（平成30年4月～31年3月）
- (2) 契約点検結果【2ヶ年連続一者応札・一者応募】（平成30年4月～31年3月）
- (3) 平成30年度調達等合理化計画にかかる取り組み状況
令和元年度調達等合理化計画(案)

【主な意見・質問等】

- (1) 「新たな競争性のない随意契約」について
 - 契約金額の交渉過程における妥当性の検証等について質問があり、回答がなされた。
- (2) 「2ヶ年連続一者応札・一者応募」について、次の意見があった。
 - 雑誌の企画・編集補助等に関する業務については、複数の業者による入札を促進するために、製本・印刷等業務を分離して発注することが可能か検討されてはどうか。（複数の委員から）
 - 予定価格を設定するために取得する参考見積りは、総額も大事だが、合理的かつ適切な金額とわかるよう、業務ごとに算定根拠が明示されることが望ましい。
- (3) 「平成30年度取り組み状況」及び「令和元年度調達等合理化計画(案)」について
 - 調達等合理化計画については、所定の様式があると理解しているが、2ヶ年の比較では増減が極端に出てしまうので、当委員会においては、参考として、経年の動きが分かるような資料作成を検討されてもよいのではないかと。

【委員の意見・質問等に対する対応】

- (1) について
 - 引き続き、契約金額の妥当性を高めるよう努めて参りたい。
- (2) について
 - 雑誌の企画・編集補助等に関する業務の分離については、製本・印刷等業務を分離して発注することが可能か検討してまいりたい。
- (3) について
 - 適宜、補足資料を作成するなど、対応してまいりたい。

以上